

ご家族にギャンブルの問題

はありませんか？

ギャンブル依存症は、WHOでも認められたれっきとした病気であるにもかかわらず、「本人の甘い考え」「一攫千金を狙う怠け者」「意思が弱い、ダメな人」と、性格の問題と誤解されています。

ギャンブル依存症者をもつ家族もまた、この病気の本質に気づかず、一般常識に惑わされ、「説教」「脅し」「泣き落とし」といった間違っただ対応を繰り返してきました。

ギャンブル依存症には常識では解決できない、対応の仕方があります。

一人で悩まず一緒に対応の仕方を
学びませんか？

大丈夫！ギャンブル依存症には、



解決策があるのです。

ご家族のギャンブルによる
こんな行動で悩んでいませんか？

- ギャンブルによる借金の尻拭いを度々している。
- 「もうギャンブルはやらない」と約束しても守られない。
- お金の問題で何度もウソをつかれた。
- 勝手に家の中のものを売られた。
- 家族のイベントよりギャンブルを優先する。
- 給与明細を見せない。
- 定期預金や、生命保険がいつの間にか解約されていた。

まずはご相談を

NPO 法人 全国ギャンブル依存症家族の会
〒162-0805 東京都新宿区矢来町 131 番地

Tel : 090-1404-3327

Fax : 047-381-4123

<http://www.gdfam.org/>

NPO 法人

全国ギャンブル依存症家族の会

ご家族の
ギャンブルの問題で
悩んでいませんか



家族の体験談

◆母親（新潟グループ）

家族の会に参加し、ギャンブル依存症を知って、息子は病気だと理解できました。そして家族である私自身も共依存の問題があった事を学びました。

◆父親（東京グループ）

ギャンブル依存の絶望の淵から、回復施設での15ヶ月を経て、息子は社会復帰し、家族も平和な日常を取り戻しました。適度の距離を置きながら、お互いが自立・自律した生き方を目指して暮らしています。またギャンブルに手を出してしまうかもしれませんが、同じ轍を踏むことはないと思います。

息子も家族も、それぞれ身につけたノウハウで、改めて回復に向かって歩みを進めていく覚悟です。

ギャンブル依存症に苦しむ家族にとっては、自助グループと家族会は車の両輪のようなものだと思います。自助グループでは勇気をもらい、家族会では仲間と連携して、共に回復への階段を登っていきます。

◆母親（茨城グループ）

毎回夫婦で家族会に参加しています。医師による勉強会を通じて、お互いに素直な気持ちを打ち明けられることができるようになり、夫婦の仲が良くなりました。周りの家族も息子の依存症という病気に理解を示してくれるようになりました。

◆母親（福島グループ）

私は家族の会で沢山の仲間と出会いました。狭い人間関係しか味わってこなかった私の人生が、奇跡的に変化しました。そして回復とは現状を何とかしたいと思う事ではなく、自分の考え方生き方を変えて行く事だと学びました。家族の会は、私のエネルギーです。

◆妻（山梨グループ）

家族会では、借金の問題や、当事者をどうやって病院や施設に繋げるか？など具体的な情報があって助かりました。

◆母親（大阪グループ）

息子がギャンブル依存症の私たちは、家族会に参加して学んだことで、自分たちも共依存になり、息子も自分達も苦しめていたことがわかりました。しかし、今は家族会でそれぞれに悩んできた仲間と共に回復を目指そうと前向きになっています。

こんな悩みがあったら 家族の会にお越し下さい

- 本人はギャンブルの問題を認めない
- 本人が医療や施設に繋がる気がない
- 話し合いができず、どうしたら良いかわからない
- 借金の問題はどうかしたいの？
- 子供への対応は？悪影響が心配
- 他の家族に理解がなく、孤軍奮闘
- 回復施設ってどんな所？
社会復帰に支障はないのか心配
- 暴言や暴力が怖い

(2017.10 現在)

家族会は、東京、千葉、山梨、新潟、群馬、茨城、福島、大阪で開催致しております。(随時拡大中。)詳しくはHPをご覧ください。

依存症の問題は家族だけで抱え込まず、連携をとることが、本人の回復にもつながります。プライバシーは守られます。